

2004年・芋づる式受験記

de JA1RIZ/ 久保田 廣美

昨年は、弱電関係からビルメン業へ移り3年目。一昨年に続き、いろんな資格にチャレンジして見ようと目標を立てる。そして、目標の『種目』を次の様に決める。消防設備士（甲5類）、エネルギー管理士（電気）、第二種電気主任技術者、公害防止管理者（大気関係1種）、建築物環境衛生管理者、第二種冷凍機械責任者。すべて今の仕事に関係する資格です。この中で、どうしても今年取りたかったものは、「建築物環境衛生管理者（ビル管）」と「第二種冷凍機械責任者（2冷）」でした。とすると、後半にスケジュールが集中してしまうのでそれに対する作戦が必要となった。

（作戦1） 2冷の資格取得法は2通りある。その1は100%国家試験（以後、国試）による法、その2は技術を講習検定で合格し国試は科目免除で法規のみ受験する法。集中度を分散させる[その2]の方法が比較的「楽」ができそう後者の方法を選択する。

（作戦2） ビル管は、馴染みが薄く難題であった。ただ、年の前半は余裕があるのでそこを有効に使えばうまく行くかも知れない。通信教育で期間が9月末までというのがあったので受講してみることにした。初めて挑戦する者には分かり易く、要点が押さえられていたので結果的にはこれを利用したことにより大変助かった。

その他は、余り考えすぎても負担になるばかりなので、気楽にすることにした。具体的には次の通りである。

消防設備士は年の始めのチャレンジなので集中力もあり、気分的に楽。幸いにも2ヶ月程の学習期間でなんとか合格できた。

2冷の講習会は2月にあり、1～3月初めまでは法定講習をメインにして進める。その結果、なんとか技術検定（3月初旬）に合格することができた。又2月末からはビル管の通信教育を並行して進め、5月初めで個人教授関係はほぼ終了。ビル管は忘れないように通勤時間等をあて5月以降もほとんど毎日継続して学習。5月からは、第2種電気主任技術者試験（電験）に勢力集中。

エネルギー管理士は共通する内容が多かったので試験日の2週間前位からスタート。その為、エネルギー管理士はかなり消化不良ぎみで受験することになってしまった。電験2種・一次試験はエネルギー管理士と同じ8月の試験日で予想通りの厳しいスケジュール。結果は両方とも、なんとか3科目の科目合格に留まり完全合格ならず。

公害防止管理者は、電験の終わった8月下旬から集中的に攻める。しかし、バケ学の知識はゼロからのスタートに等しく、有害物質の処理技術・測定技術などはお手上げ状態。受験のレベルに到達することすらできませんでした。化

学系の基礎力が欠如で、大いに反省しました。(試験日 9/26)

10月のビル管試験には2月からの継続学習の実績があるので自信满满(?)で望みましたが、自己採点では合格ラインギリギリ。合格できましたが、薄氷の合格でした。今年は試験センターの講習テキストの大改定で、問題の変化もあり苦労された方も多かったようです。

その終了後から約1カ月間は2冷のみに集中できました。受験科目は法令のみなので気が楽でした。(試験日 11/14)。これで2004年の受験に明け暮れた計画はひとまず終了しました。1年を通しての結果の良否は判断できませんが、自分にとっては出来過ぎだったとも思えるし、もう少し何とかなのではないかと欲もあります。ですが、継続して色々取組んだからこそ、この結果になったといえると思っています。

継続して受験することの利点は、継続して学習する癖がついたことではないでしょうか。そして、異種の資格の間には何の関係もない様だが、相通ずる点もあるという事に気付かされたことでした。我が愚妻の意見は、一つの資格を深くやったほうが良い、というものでした。しかし、自分の場合はあちこちと欲張り思考で分散した様に見えるかもしれないが、逆にそれが良かったといえます。…色々やってボトムアップをはかるのも一方法かと思います。

受験の途中では結構厳しいこともありましたが…。HAMINGとスケジュールが重なってしまうことが一番きびしい！…。

今年度についてもエネルギー管理士など色々挑戦したいと思っています。

(以上)
